

作業療法って？

作業療法は Occupational Therapy 略して「OT」といいます。作業療法士は 病気やけが もしくは 生まれながらに障害がある方など 年齢に関係なく 日常生活に関わる活動（作業）に支援が必要な全ての人の“暮らしやすさ”を作るお手伝いをしている リハビリテーションの専門職です。医療・福祉・介護・教育現場などで働いています。

特別支援教育って？

お子さんの自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点で 一人ひとりの教育的ニーズを把握し その持てる力を高め 生活や学習上の困難を改善または克服するために 適切な指導や必要な支援を行うものです。

特別支援教育における作業療法

幼児期から青年期の教育を受けている方々を対象に 障害の種別に関係なく 遊びや生活 学習など様々な作業や活動の中で生じている困りごとについて その理由を理解し 個々に合わせた支援方法を提案します。

【問い合わせ先】

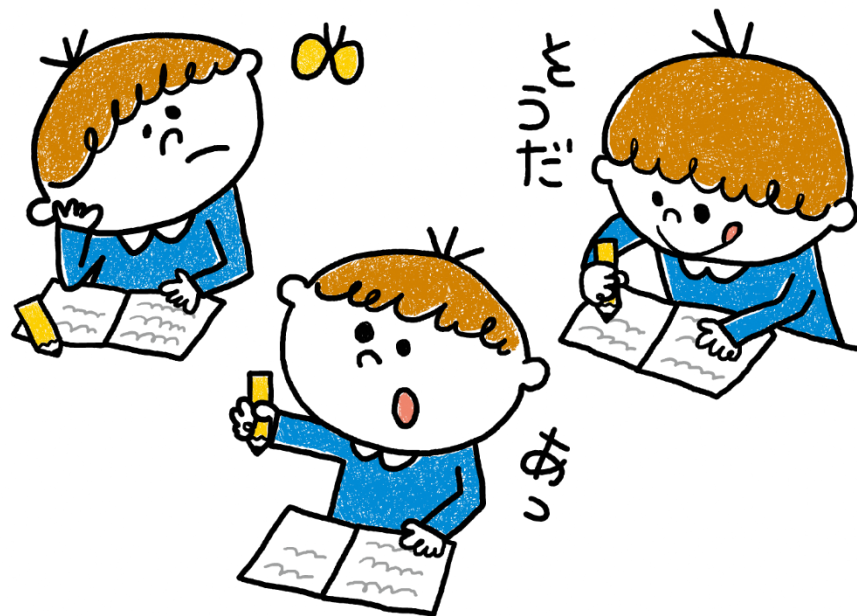
(一社) 青森県作業療法士会 特別支援教育関連参画推進委員会

E-mail : makiko_akimoto@pref.aomori.lg.jp

(担当：青森県立あすなろ療育福祉センター 作業療法士 秋元)

平成30年6月作成

できた!! をふやす
特別支援教育に活かす作業療法



一般社団法人
青森県作業療法士会



青森県作業療法士会では作業療法士の訪問支援をはじめました

「どうしてできないのかな？」
「なんでがんばらないんだろう？」
と思うこと 思われたことはありませんか？
その理由を探り 理解することが支援につながります。

支援方法の手段の一つとして
作業療法を利用してみませんか？

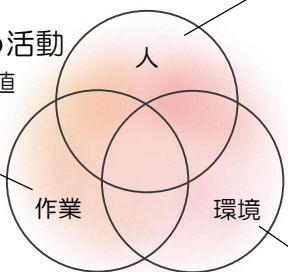


作業療法は どんな視点でみるの？

“困りごと”を《人》《作業》《環境》の3つの相互作用から生じる結果としてとらえます。この3つの側面を細かく分析することで“困りごと”が生じている理由や「〇〇のときは△△できる」というお子さんのプラスの部分を見つけ お子さん一人ひとりに合った支援方法を提案していきます。

お子さんの行う活動

- 作業の意味や価値
- 構成する要素
- ステップ
- プロセス
- 難易度



お子さん自身の能力

- 運動機能
(粗大運動 巧緻動作 筋緊張 姿勢など)
- 感覚・知覚・認知機能
(触覚 前庭覚 空間認知 ボディイメージなど)
- 心理・社会機能
(自尊心 対人スキル コミュニケーションなど)

お子さんを取り巻く環境

- ものの特徴
- 時間
- 場所の雰囲気
- 関わる人



どんなことを相談できるの？

遊び 学習 日常生活動作など さまざまな作業や活動の中で生じている困りごとについて相談できます。

〈例〉

- 集中力が続かない
- 集団行動が苦手
- 手先が不器用
- からだの動きがぎこちない
- 対人関係が苦手
- 読み書きが苦手
- 板書に時間がかかる
- スプーンや箸がうまく使えない
- 着替えができない
- お絵描きが苦手 など



どんな流れで行うの？

- 1 事前に困りごとについて内容を聞き取ります。
また 訪問に必要な手続きや打ち合わせを行います。
- 2 依頼先（学校や保育園など）へ訪問します。
実際の場面で「どのように起きているのか」観察します。
- 3 専門的な視点で分析し
「なぜ起きるのか」困りごとが生じる理由を探ります。
- 4 個々に合わせた具体的な支援方法を提案しながら
「どうすればできるようになるのか」一緒に考えます。
- 5 提案した内容が適切か確認します。

※訪問支援や研修依頼の詳細はお問い合わせください（連絡先は裏面）